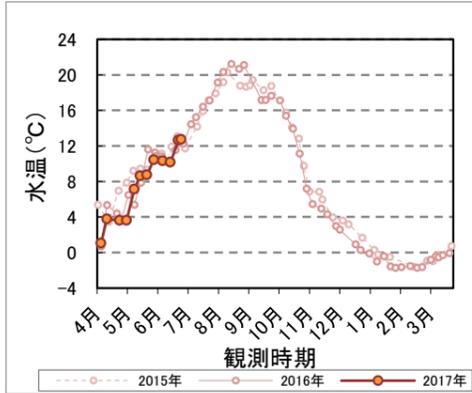


◎オホーツクタワーの動物プランクトン分析速報 (2017年6月)

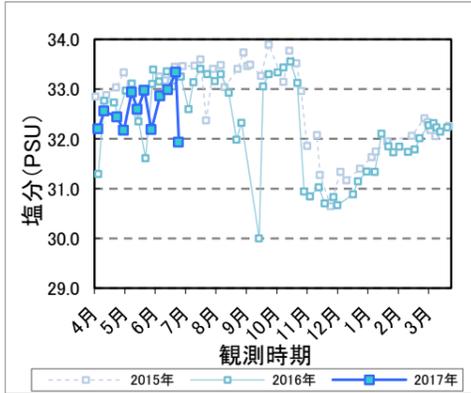
海洋環境データ

※観測：紋別市

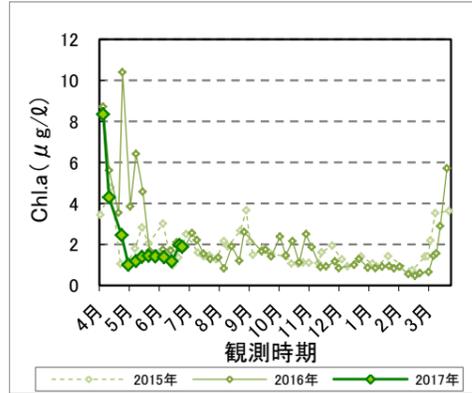
◎水温 (0~9mまでの平均値)



◎塩分 (0~9mまでの平均値)



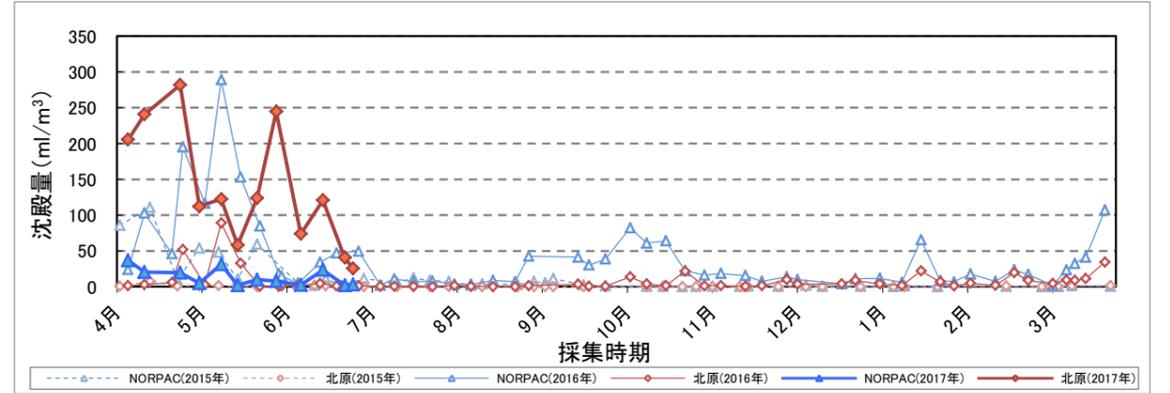
◎Chl. a (0~9mまでの平均値)



動物プランクトンデータ

※分析：(株)エコニクス

◎動物プランクトン・沈殿量



概要

Table with 5 columns: Date (6月7日, 6月15日, 6月23日, 6月26日) and rows for Average Temperature, Average Salinity, Average Chl.a, Sedimentation, and Main Species. Species lists include Calanus, Mesocalanus, Eurytemora, Acartia, and Pseudocalanus.

出現量の多かった種類

Grid of images and descriptions for various zooplankton species: Pseudocalanus newmani, Gastropoda (larva), Eurytemora herdmani, Pleuconectidae (egg), Acartia longiremis, Acartia steueri, Pinnixa sp. (zoaea), Balanomorpha (nauplius), and Pinnixa sp. (zoaea).

※種名の先頭に“◎”がつく種類は、出現量の多い種類を示す。[...]内の“+”は分析者主観による個体数の多さを示す(+)出現、(++)やや多い、(+++)多い、(++++)かなり多い、(++++)極めて多い。
※種名の後ろの記号は、北海道において後述の性質が強い種類を示す(◆冷水性種、◆暖水性種、◆汽水性種)。
※今月のサンプルには珪藻類(植物プランクトンの仲間)、腐植質(主に枯死・分解した植物由来の物質)が多く含まれており、沈殿量の数値はこれを含む。
※沈殿量の“0.0”表示は四捨五入の都合上、“0.1 (ml/m³)”未満になったことを示す。
※参考文献：①千原・村野(1997)日本産海洋プランクトン検索図説[東海大学出版会]②山路(1966)日本産海洋プランクトン図鑑[保育社]③岩国市立ミクロ生物館 監修(2011)日本の海産プランクトン図鑑[共立出版]